

記者発表（記者発表・資料配付）			
発表年月日	令和3年9月9日（木）	担当地方機関	（公財）兵庫丹波の森協会 兵庫県立丹波年輪の里
電話番号・内線	0795-73-0725	担当課	管理課
発表者	館長 小西 重正	事務担当者	部長兼管理課長 村上 佳邦
解禁日時	無 ・ 有 （ 9月9日 10時解禁）		
同時発表先	無 ・ 有 （兵庫県庁）		
特記事項			

「第33回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」

一般の部 入賞者決まる！地元丹波市から3名の入賞者

第33回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）・一般の部審査会を、去る8月31日（火）に実施し、応募作品数74点から、グランプリ（文部科学大臣賞）以下11点の入賞者を決定しましたのでお知らせします。

また、9月11日（土）から9月26日（日）までの間、全ての出展作品を丹波年輪の里 木の館ホールにおいて展示するとともに、前回 一般の部グランプリ作者による個展を同会場にて同時開催いたします。

表彰式は、10月31日（日）13時30分から行います。

なお、グランプリ以下入賞作品の審査講評は、9月9日（木）夕方以降にご用意できます。入賞結果はホームページにも掲載する予定です。https://nenrin.org/w_craft/

記

- 応募状況**

出展作品数	74点（前回：84点）
出展者数	69名（前回：80名）

（北海道から沖縄まで24都道府県からの応募があった。前回：15都道府県）
- 入賞者**

別紙（参考）

 - ・今回のテーマ別部門のテーマは「転換」で、74点中30点がテーマ作品であった。
 - ・学生からの出展30点の中から「学生賞（丹波市製材協会賞）」が選ばれた。若い世代の活躍に期待が寄せられている。

（参考）学生出展数30名、30点（前回 49名、49点）
- 審査員**

審査委員長	渋谷 寿（名古屋女子大学教授）
審査員	尾崎 織女（日本玩具博物館学芸員）
	中井 秀樹（プロダクトデザイナー）（50音順）

- 4 展示期間 令和3年9月11日(土)～9月26日(日)
9:00～17:00 最終日は15:00まで
休館日は月曜(月曜祝日の場合は翌平日)
なお、展示期間中、来場者による作品(入賞作品以外)の人気投票を行います。
選ばれた作品の出展者と、投票者の中から1名に丹波の特産品(スイーツ)を贈呈。
- 5 表彰式 令和3年10月31日(日)13:30～
(於)丹波年輪の里 木の館・研修室
- 6 共 催 兵庫県、丹波市、(公財)兵庫丹波の森協会
- 7 後 援 兵庫県教育委員会、丹波市教育委員会、丹波篠山市教育委員会、
(公財)兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、
読売新聞豊岡支局、産経新聞社、神戸新聞社、丹波新聞社、
NHK 神戸放送局、三木工業協同組合、(公財)森林文化協会、丹波市観光協会、
丹波市製材協会(順不同)